

3号機における廃棄物処理建屋内の水漏れについて

<概要>

(事象の発生状況)

運転中の3号機において、廃棄物処理建屋の1階に設置されている燃料プール冷却浄化系プリコートポンプ廻りで水が漏れているのを当社社員が発見しました。あふれていた水の量は約4リットル、放射エネルギーは約 1.6×10^5 ベクレルでした。

(今後の対応)

原因について調査するとともに、再発防止対策について検討してまいります。

(安全性、外部への影響)

本事象による外部への放射能の影響はありません。

(公表区分)

本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

平成22年2月21日午後4時10分頃、定格熱出力一定運転中の当所3号機(沸騰水型、定格出力78万4千キロワット)において、燃料プール冷却浄化系^{*1}のろ過脱塩装置^{*2}のフィルターに樹脂をコーティング(塗布)する作業を行っていたところ、廃棄物処理建屋1階に設置されているプリコートポンプ^{*3}(以下、当該ポンプ)廻りで水が漏れているのを当社社員が発見しました。

その後、当該ポンプを停止し、水の漏えいは停止しました。

漏れた水は、当該ポンプ軸封部の封水^{*4}を排水する配管が詰まったことにより、当該ポンプのドレン受けに排水が逆流してあふれたもので、管理区域^{*5}内にとどまっております。また、漏えい量は約4リットル、放射エネルギー^{*6}は約 1.6×10^5 ベクレルで、拭き取りによる清掃を実施しました。

2. 今後の対応

当該ポンプ軸封部の封水の排水配管については清掃を実施いたします。

また、今後原因について調査するとともに、再発防止対策について検討してまいります。

3. 安全性、外部への影響

本事象による外部への放射能の影響はありません。

*** 1 燃料プール冷却浄化系**

燃料プールの水を冷却しながら不純物を除去し水質を維持する系統。

*** 2 ろ過脱塩装置**

燃料プール水の不純物を除去し水質を維持するためのフィルター。

*** 3 プリコートポンプ**

ろ過脱塩装置のフィルターに樹脂をコーティングする際に使用するポンプ。

*** 4 封水**

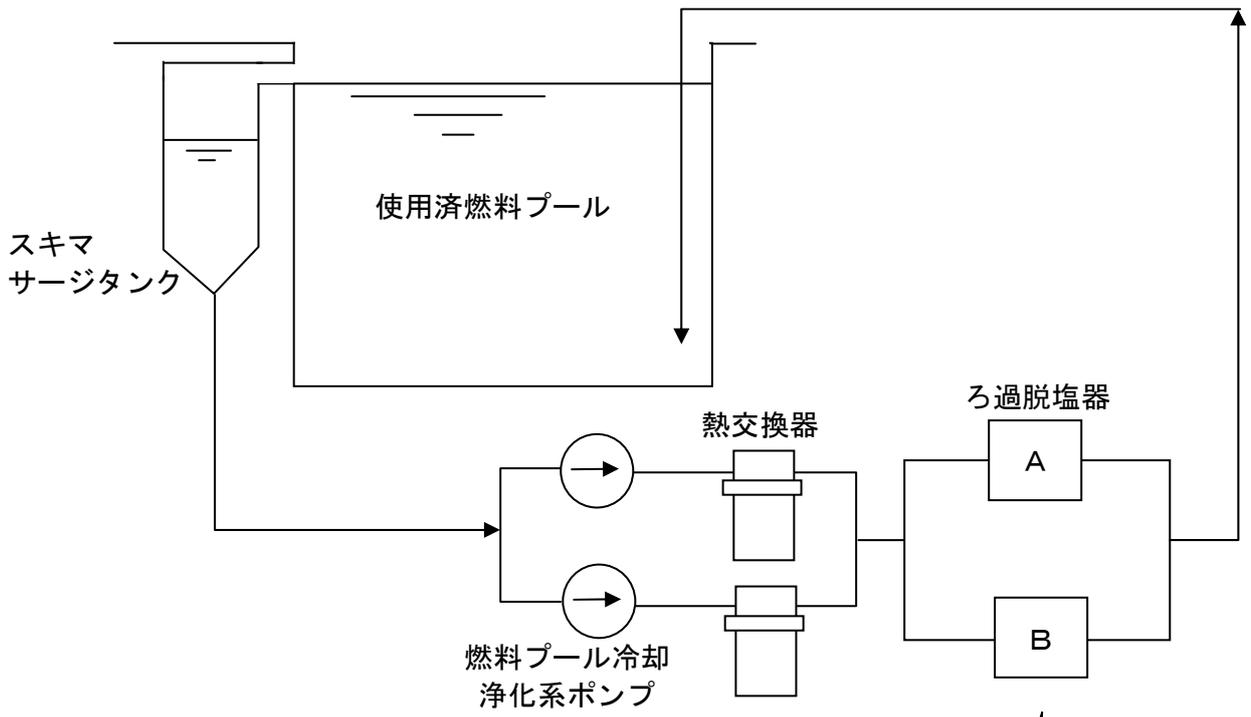
ポンプ内部の水が主軸を通してポンプ外部に漏れることを防止するために、供給する水。

*** 5 管理区域**

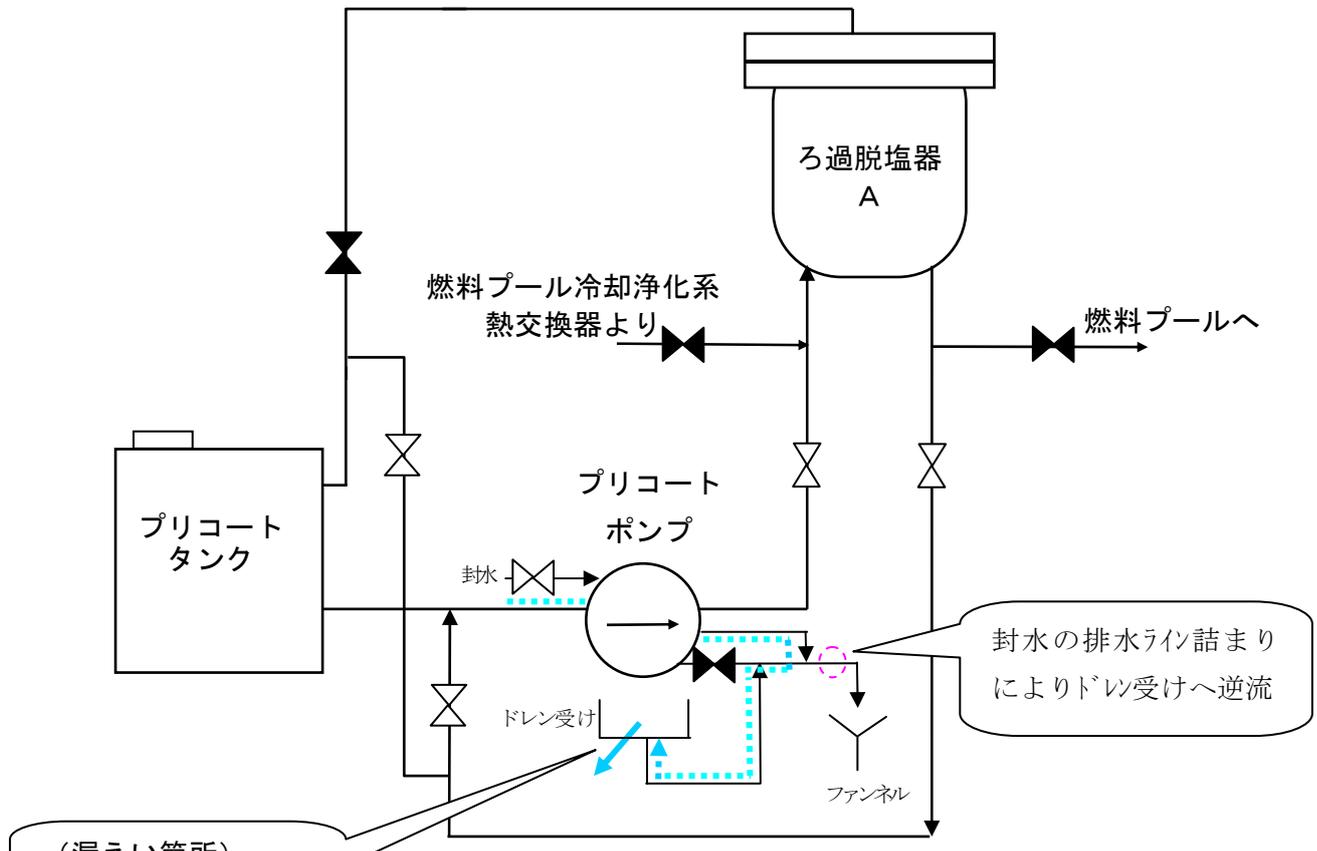
放射線による無用な被ばくを防止するため、また、放射性物質による放射能汚染の拡大防止をはかる管理を必要とする区域。

*** 6 放射能量**

漏えいの拡大を防止するための堰を超える漏えい事象の場合、法令による報告対象として、放射能量については 3.7×10^6 ベクレルが目安とされています。



燃料プール冷却浄化系 系統概略図



プリコートポンプ廻り 系統概略図